

2007年度 第2回 高1トピックレベル記述模試

国語 採点基準

東進コメンツ本部 教務部 国語科

《採点者の皆様へ》

- 1 厳しく採点をお願いしますが、受験生の意図を汲み取ることにご留意して下さい。
- 2 採点の際は、必ず各問題の全文を掌握しておいて下さい。

《全問題共通のルール》

表記に関して

解答欄からはみ出た答案 0点

文章が途中で終わり、最後まで書かれていないもの 0点

誤字 1箇所につき1点減点

ただし、同じ漢字は、同じ大問で1度のみ減点とする。

脱字 1箇所につき1点減点

「行つ」「行なつ」など二通りの送り仮名は認める 減点なし

「見れる」など、「らぬき言葉」と「笑つてる」など、「いぬき言葉」は脱字扱い

は誤りの箇所にチェックを入れること。

記述問題における文末の「。」

字数制限がない場合 減点なし

字数制限がある場合

(1) 「。」が文末にない時 1点減点 「句点なし」と明記

(2) 最後のマスに「。」と文字が同居している時 0点 「字数超過」と明記

字数制限のある問題での字数超過 0点 「字数超過」と明記

四十一字以上の字数制限問題における字数不足。

50%未満の解答 0点 (50%以上の解答が採点対象)

四十字以下の字数制限問題における字数不足 減点せず。

主語・述語の不備。文末不備など表現未熟 1点減点 「表現未熟」「文末不適」と明記。

〈得点記入〉

それぞれの得点を記入。
減点がある場合は、得点欄の上にその旨を記入。

〈記述答案の採点法〉

得点の対象となる部分に傍線を引く。

配点要素を満たしている場合

をつけ得点を記入。

配点はあるが、不完全な場合

をつけ得点を記入。

減点は欄外に記入。

間違いで0点の部分には、スラッシュなど必ず何らかの採点した印を付して下さい。未記入のまま残すことがないように配慮下さい。

(例)

(2点)

(2点)

(正解) 男は、かわいらしいと感じた女性を、不憫に感じた。

(4点)

2

(例1) 男は、かわいらしいと感じた女性を、気にかけた。

(2点)

(例2)

かわいらしいと感じた女性を 不憫に感じた。

(1点)

1

2

「表現未熟」(主語が抜けている)

(例3)

男は、かわいらしいと感じ、不憫に思った。

(3点)

2

2x(誤字1)

(例4)

男は、かわいらしいと感じた女性を、不憫に感じた。

(3点)

(例5)

女は不愉快に感じ、男を意図的に無視した。xまたは斜線を付す。

問四 6点

(模範解答例) 本来有するはずの「道心」や「菩提心」のような仏教の伝統を忘却したり無視した

りした、心理学者や精神医学者の真似をする」と「よって生じた言葉」(69字)

35字未満の解答は0点。

文末表現は「言葉」で終わっていないものはマイナス1点で、「文末不適」と記す。

・要素 について (必須条件 … 4点)

これに類する要素がない答案は×とし、の部分も加点しない。

・『仏教の伝統』を『忘却』『無視』した」という骨組みになっていることが条件。

「忘却」「無視」に類する言葉であればOK。(例)「忘れ」「脱却」「追(「取り除く」など)本文にある「無性格(な心)」をそのまま用いただけのものは、×とする。

「仏教」が欠けていて、たんに「伝統」としたものは、で2点を与える。ただし、「道心」「菩提心」が在る場合は、「仏教」の要素の代替としてみなし、(4点)とすること。

(例1) の例

「道心」や「菩提心」といった昔から存在する伝統の、忘却や無視は… とする。4点

(例2) 仏教の伝統を忘れた無性格な言葉を用い… 仏教の忘却と無性格を同時に用いている

ので、とする。4点

(例3) の例

2

日本に古来から存する伝統を無視した… たんに「伝統」を用いている。

(例4) の例

×

無性格な心を意味する言葉を用いて… たんに「無性格」と用いている。

で得点があったもののみこの先の採点に進む。

・要素 について (2点)

で得点があるもののみ採点対象とする。

・「心理学者」「精神医学者」のどちらからかがあれば可。

・「真似」「口真似」「類似」「同様」「追(「…通り」などでOK)。

問五 5点

(模範解答例) 現代では、心理学者や精神科医たちが、以前は「神の役割であった」心のケア

や「マインド・コントロール」をたづねる」。(60字)

三十字以下は0点。

文末は「こと」となっているのが望ましいが、名詞止めになっていれば可。なっていないものは、マイナス1点で「文末不適」と明示する。

の要素は必須条件。(3点)

・この要素がないものは×。

・「心のケア」「マインド・コントロール」が片方の場合は、で1点マイナス(2点)

・「追」「心のケア」などと類似表現にしたものも、前項と同様で、で1点マイナス(2点)

・「神の役割」と明確に分からない説明は、でマイナス2点。

の部分に得点があるもののみ を採点する。

の要素 2点

・訂(「心理学者」「カウンセラー」でも可)、「精神科医」の両者があって2点。片方の場合は1点。

問六 5点

(模範解答例) 西欧の近代と同様に、日本でも仏が抹殺され、「宗教」の本来の姿が失われている。

字数は不問。

1 2の組み合わせは必須条件。(3点)

・「日本でも…宗教の本来の姿が失われている」の骨組みが必須。「本来の」の要素が特に重要。

・「日本でも…宗教が失われている」と「本来」に類する要素(「追」「奥行き」等)がないものは、意味が異なるので×。

・「追」(「宗教の本来の姿が失われている」は「宗教の意味をなさなくなっている」でもOK)。

・「日本でも仏が抹殺されている」という主旨に過ぎないものは、本文通りの表現であるが、比喩的な表現が未理解で、右と同様の内容になるので×。

・「日本でも仏がゆがめられ」「日本では仏が捻じ曲げられ」などは、本文の言葉と異なるが、「本来の姿が失われている」ことを意味するので、で1点を与える。

の部分に得点があるもののみ を採点する。

の要素。(2点)

・「西欧の近代」に言及しており、「日本でも」などと同様であることが明示されていれば、OK。

・「西欧」だけで「追」「近代」がない場合は、で1点マイナス。(1点)

□(小説) 20点

問一 各1点 (a) オ (b) ウ () 解答通り()

問二 6点

A (3点)

(模範解答例) 何回かの手術が必要なほど綴友の症状が重いと知ってきわついたが、

さらに手術も成功するとは限らないとわかり、

B (2点)

クラス全員が死を身近に感じて

C (1点)

深刻な気持ちになったから。

四十字未満の解答は0点。

文末が「から」「ので」「ため」等になっていないものはマイナス1点とし、「文末不適」と記す。

Aの要素 (3点)

- ・「症状が重い」という内容があること。「病状が悪い」「状況がよくない」「追」「重病」なども可。
- ・たんに「想像外の症状」「予想を超えた状況」などは具体性がないのでマイナス2点。(1点)
- ・「手術が多い」など回数に限定した内容は×。

Bの要素 (2点)

- ・「死」に言及していることが条件。
- ・「死」を「悪いこと」「想像以上のこと」など抽象的なものはマイナス1点。(1点)
- ・「ガンリュウが危険」など具体性があるものは可。(追)「手術が失敗したら」も可。
- ・(追)「ガンリュウの運命が決まる」は悪い方向とは決められないので、マイナス1点(1点)
- ・(追)「同じことを考えている」は具体性がないので×。

Cの要素 (1点)

- ・「深刻」「暗い気持ち」「重苦しい雰囲気」など可。
- ・(追)「不安」「怖い」は可。「不信感」は×。
- ・(追)「同じ気持ちになっっている」はこの要素としては抽象的すぎて×。

(追) BとCを合体した答案

「死を想像した」はBの要素はあり(2点)、Cの要素はない(Cは0点)ので、2点とする。

問三 3点 (2点)

(1点)

(模範解答例) 美代子も自分のことを好きだと認めて うれしくなる。

字数不問。

文末表現も不問。

は必須条件。(2点)

- ・「美代子が自分のことを好き」という内容であれば可。
- ・右以外の内容は認めない。
- ・「美代子の言動に」など「好意を抱く」内容になっていないものは×。
- ・(追)「美代子」がない場合はマイナス1点。(1点)
- ・(追)「美代子も悪い気がしていない」「はマイナス1点。(1点)

の部分に得点があるもののみ を採点する。

の要素。

- ・「うれしい」「悦んだ」「幸福を感じた」など「喜び」に言及して言えば可。
- ・(追)「照れている」は×。

問四 3点 H (解答通り)

三(古文) 30点

問一 各1点

A かけら D はべる (解答通り)

問二 各2点

B じ C ぬ D る (解答通り)

問三 各2点

A B C

a こんなにもして守っているところ、天人にだって負けようか。

ABC各1点の減点法。

A 「こんなに」可。(追)「」のように「は」x。

B 「守備している」可。(追)「」している「」やっている「」など内容は不明確なものはx。

C 反語用法である。「天人にも」でも可。

「む」を推量で「だろう」と訳したものはx。「や」を疑問にしてものx。

b 戦うことはできません。

戦うことはできないのである。

不可能の意味に訳していないものはx。

模範解答右のように、会話文なので丁寧語で訳すべきだが、なくても可。

「なり」の訳出は不問。

A B A B

d 大勢の 役人たち 大勢の 朝廷の人たち

ABCDは各1点の減点法。

A の「こころ」の「1点」。「大勢の」「多数の」などであること。

B の「おほやけ人」1点。官僚を意味すれば可。また複数形は不問。(単数形でもよい)

j たいへん 美しい

必須。「美しい」のほか、「綺麗で」「華麗で」「清らかで」「立派で」「すばらしく」など可。

連用形で下へつなげていない訳は マイナス1点。(終止形になっているものなど)

の部分に得点があるもののみ を採点する。

「とても」「大変」など「いと」「訳が正確になっていないものは マイナス1点。

問四 1点 こ 解答通り

問五 2点 2 解答通り

問六 完答1点 嫗と翁 (順不同) 解答通り

問七 3点

動詞「まかる」 助動詞「ぬ」 助動詞「むす」 各1点とする。

問八 3点

A B C D

(模範解答例) かくや 姫と翁夫婦が、ともに未永く 暮らす 宿縁。

要素A B C D各1点の減点法。

(追) ただし1項目できていれば必ず1点を与える。したがって1個でも2個でも1点。

Aの「翁夫婦」は「翁」「夫婦」「両親」可。

Bの「未永く」は「いつまでも」「長く」「当分」など長い期間を示せば可。

Cは「住んでいる」「親子でいる」など現状の継続を意味すれば可。

Dは「因縁」「運命」「前世からの約束」「以前からの決まり」など可。

問九 2点 解答通り

(解答) いささかだにせて

いささかだに仕へで

「仕つまつら」の謙譲語が消えて普通語に変化していることが条件。

・それ以外の部分を修正したものは×。

・活用形の間違いも×。

問十 2点

(模範解答例) 天人に かぐや姫を強奪させない 意図。
月の国から かぐや姫を守る 意図。

文末表現は「意図」がよいが、名詞止めになっていれば可。それ以外はマイナス1点。

の要素は必須。これがない場合0点。

・「かぐや姫」を守る内容になっていれば可。「かぐや姫を渡さない」「追」「かぐや姫を連れていかせない」等可。

・「思い通りにさせない」「負けない」など具体性がないものはマイナス1点。

の部分に得点があるもののみ を採点する。

の要素がない場合は、の部分で得た得点より1点減点。

・「月からの使者」「月からの迎え」「天上の人から」など「天」「月」に言及していれば可。

・「空から来た人」も許容。

・たんなる「使者」「迎え」は説明不足となり不適でマイナス1点。

四 漢文 20点

問一 各2点 解答通り

(1) 1 (2) 5

問二 () 4点

(模範解答)

「且」がない文は「病気になって満三ヶ月たった」という完了的な意味になるが、

A

B

「且」がある文では「病気になってまもなく三ヶ月になる」という近未来的な意味になる。

ABが正確に書かれていて、4点。片方が合っている場合は2点。

(追) ただし、ABのような言葉がなくても、訳が正確にできていて、内容の差異が明確であればOKとする。

・相違が明確になっていない文は「表現未熟」で1点減点し、それを明記すること。

・波線部がなく、どちらがどちらの説明が不明確なものは×にし、「説明未熟」と明記すること。

・それ以外の部分に間違いがある時は1箇所のみ2点とし、2箇所以上は×とする。

() 2点 将 解答通り

問三 4点

(模範解答例)

A (2点)

年少の君主を補佐する大役で優れた能力を發揮し、

B (2点)

国家の安危や存亡に心を砕く人物。

字数不問。

文末表現も不問。

ABを二文に分割したものは、マイナス2点とし「表現未熟」と明記する。

AB各2点を配当する。

Aの要素。

「年少の君主を補佐する…優れている」という骨組みで2点。

・「年少」「若い」がないものはマイナス1点。「未熟」という内容も許容。

Bの要素。

「国家の存亡に心を砕く」という骨組みで2点。

・「安危」「存亡」のどちらかの要素があれば可。

・「心を砕く」「腐心する」などの努力を明示する要素がないものは×。(Bは0点)

ABの合体の解答。

・(追) 「適職を与えた場合は能力を發揮する」等は内容が不明確なので、全体として1点だけを与える。

問四 3点

解答通り

問五 3点

(解答) 畏敬 原則解答通り

その他の解答の場合

「畏怖」×() 「おそれ」のみは×()

「尊敬」「敬服」1点() 「敬つ」「気持ちのみしかかないものは1点()

「敬礼」×() 「敬つ」「行動は心情でない」×()